



令和6年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

令和5年8月2日

上場会社名 株式会社 松屋フーズホールディングス

上場取引所 東

コード番号 9887 URL <https://www.matsuyafoods-holdings.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 瓦葺 一利

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 中村 洋一

TEL 0422-38-1121

四半期報告書提出予定日 令和5年8月8日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 令和6年3月期第1四半期の連結業績(令和5年4月1日～令和5年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
6年3月期第1四半期	28,100	12.6	38		115	91.8	2	
5年3月期第1四半期	24,967	10.8	268		1,418	28.8	865	19.0

(注) 包括利益 6年3月期第1四半期 38百万円 (95.5%) 5年3月期第1四半期 855百万円 (19.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
6年3月期第1四半期	0.12	
5年3月期第1四半期	45.42	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
6年3月期第1四半期	80,425	41,035	51.0	2,152.56
5年3月期	79,697	41,403	52.0	2,171.84

(参考) 自己資本 6年3月期第1四半期 41,035百万円 5年3月期 41,403百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
5年3月期		12.00		12.00	24.00
6年3月期					
6年3月期(予想)		12.00		12.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 令和6年3月期の連結業績予想(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	54,900	7.4	100	57.0	300	87.7	0		0.00
通期	113,600	6.6	1,000	31.9	1,400	64.2	400	68.1	20.99

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 0 社 (社名) 、 除外 0 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	6年3月期1Q	19,063,968 株	5年3月期	19,063,968 株
期末自己株式数	6年3月期1Q	317 株	5年3月期	317 株
期中平均株式数(四半期累計)	6年3月期1Q	19,063,651 株	5年3月期1Q	19,055,828 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料のP3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
3. その他	8
継続企業の前提に関する重要事象等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、コロナ禍からの社会活動、経済活動の正常化が進む中、緩やかに回復しつつあります。一方で、不安定な国際情勢や物価高の長期化などから依然として先行き不透明な状況が続いております。

外食業界におきましては、インバウンド需要回復への期待感はあるものの、原料、資材、エネルギー単価の高騰等により、経営環境は依然厳しい状況が続いております。

このような環境の中で、当社グループは、“みんなの食卓でありたい”をスローガンに、アフターコロナの新たな食のインフラとしての責務を果たすべく、「新規出店」「既存店改装」「人材投資」の持続的成長投資に重点を置き、以下のような諸施策を推進し、業容の拡大と充実に取り組んでまいりました。

新規出店につきましては、牛めし業態6店舗、とんかつ業態1店舗、鮭業態1店舗の合計8店舗を出店いたしました。一方で、直営の牛めし業態店1店舗、その他業態2店舗の合計3店舗につきましては撤退いたしました。また、当連結会計年度より台湾松屋餐飲股份有限公司が連結対象会社となったことにより、既存店5店舗が加わり、当第1四半期連結会計期間末の店舗数はFC店を含め、1,220店舗（うちFC5店舗、海外13店舗）となりました。この業態別内訳としては、複合化によるとんかつ業態からの牛めし業態への業態変更1店舗を実施し、牛めし業態1,001店舗、とんかつ業態179店舗、鮭業態10店舗、その他の業態30店舗となっております。

新規出店を除く設備投資につきましては、86店舗の改装（全面改装1店舗、一部改装85店舗）を実施した他、工場生産設備などに投資を行ってまいりました。

また、人材投資として、初任給の引上げ、ベースアップ、インフレ手当の支給等の待遇改善に加え、従業員へのタブレット配布によるEラーニングの強化等の教育投資を展開してまいりました。

商品販売及び販売促進策につきましては、農林水産省が立ち上げた『牛乳でスマイルプロジェクト』へ参画し、牛乳廃棄問題への取り組みとして「ホワイトソースハンバーグ定食」の販売の他、新商品として「牛肉チャプチェ定食・チャプチェコンボ牛めし」「デミグラスハンバーグ定食」「ねぎたっぷりスパイスカレー」等の販売、『平成レトロ復活メニュー』として「トンテキ定食」「トマトカレー」「チキン定食」を販売いたしました。

これらの取り組みの結果、当第1四半期連結累計期間の連結ベースの業績は次のとおりとなりました。

まず、売上高につきましては、既存店売上が前年同期比114.7%と前年を上回ったことに加え、前年度以降の新規出店等による売上増加分が寄与したこと等により、前年同期比12.6%増の281億円となりました。

エネルギー費、各種調達価格の上昇等により、原価率は前年同期の33.6%から34.2%と上昇いたしました。一方、売上高の増加により、固定費の占める割合が低下したこと等により、販売費及び一般管理費につきましては、前年同期の67.5%から65.9%へと改善いたしました。なお、当社において重視すべき指標と認識しているFLコスト（売上原価と人件費の合計。FOODとLABORに係るコスト）の売上高比は、前年同期の67.2%から67.7%へと上昇いたしました。

以上の結果、営業損失は38百万円（前年同期は営業損失2億68百万円）まで回復。経常利益は、新型コロナウイルス感染症に係る感染拡大防止協力金等の計上がなくなったことにより、前年同期比91.8%減の1億15百万円、親会社株主に帰属する四半期純損失は2百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益8億65百万円）となりました。

なお、当社グループにおいては、飲食事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

（2）財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は804億25百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億28百万円増加いたしました。このうち、流動資産は267億90百万円となり、商品及び製品が2億43百万円増加した一方、現金及び預金が5億26百万円減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ2億5百万円減少いたしました。また、固定資産は536億35百万円となり、新規出店や改装実施、工場生産設備などへの投資による有形固定資産が増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ9億34百万円増加いたしました。

当第1四半期連結会計期間末における負債は393億89百万円となり、未払法人税、賞与の支払い、長期借入金の返済等の減少要因があった一方、短期借入金の増加等により、前連結会計年度末に比べ10億95百万円増加いたしました。

当第1四半期連結会計期間末における純資産は410億35百万円となり、利益剰余金の減少等により前連結会計年度末に比べ3億67百万円減少いたしました。自己資本比率は前連結会計年度末の52.0%から51.0%となっております。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

新型コロナウイルス感染予防等の行動制限緩和が進み、国内経済は回復の兆しがみえ始めております。一方、資源高騰、円安進行、世界的なインフレの進行等による、国内消費への悪影響が懸念され、依然として今後の先行きは不透明な状況にありますが、現時点で令和6年3月期の連結業績予想数値につきましては、令和5年5月12日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

このような環境下の中、今後も食のインフラとしての責務を果たすべく、新商品の販売等の販売促進活動の強化により、新規出店の拡大、既存店舗の改装等を積極的に実施し、業容の拡大を目指してまいります。同時に、コスト構造改革を推し進め、収益向上を図ってまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和5年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (令和5年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,879,375	14,353,282
受取手形、売掛金及び契約資産	3,158,418	3,135,351
商品及び製品	1,123,274	1,366,594
原材料及び貯蔵品	6,605,085	6,494,981
その他	1,229,822	1,439,803
流動資産合計	26,995,977	26,790,013
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	19,239,670	19,996,990
機械装置及び運搬具（純額）	2,343,167	2,272,313
工具、器具及び備品（純額）	2,453,290	2,618,681
リース資産（純額）	1,636,117	1,712,517
土地	9,344,454	9,346,973
建設仮勘定	364,641	225,552
その他（純額）	—	317,036
有形固定資産合計	35,381,342	36,490,066
無形固定資産		
ソフトウェア	399,043	409,395
その他	66,207	68,542
無形固定資産合計	465,250	477,938
投資その他の資産		
投資有価証券	89,831	89,978
敷金及び保証金	11,533,793	11,625,026
長期前払費用	296,277	310,509
店舗賃借仮勘定	404,635	625,481
繰延税金資産	3,488,067	3,505,398
投資不動産（純額）	183,979	53,557
その他	867,336	466,863
貸倒引当金	△9,344	△9,380
投資その他の資産合計	16,854,578	16,667,435
固定資産合計	52,701,170	53,635,440
資産合計	79,697,148	80,425,454

（単位：千円）

	前連結会計年度 (令和5年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (令和5年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,314,082	2,712,855
短期借入金	24,713	3,425,246
1年内返済予定の長期借入金	4,401,756	4,401,756
未払金	5,141,215	4,744,328
リース債務	433,510	518,131
未払法人税等	749,906	136,884
賞与引当金	1,307,282	803,592
その他	2,836,966	2,291,480
流動負債合計	17,209,433	19,034,274
固定負債		
長期借入金	14,905,769	13,805,330
役員退職慰労引当金	567,800	567,800
リース債務	1,355,802	1,700,086
資産除去債務	4,088,121	4,120,642
繰延税金負債	2,927	2,927
その他	164,161	158,745
固定負債合計	21,084,583	20,355,531
負債合計	38,294,016	39,389,806
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,655,932	6,655,932
資本剰余金	6,976,341	6,976,341
利益剰余金	27,867,606	27,459,249
自己株式	△726	△726
株主資本合計	41,499,153	41,090,797
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,123	1,225
為替換算調整勘定	△97,145	△56,374
その他の包括利益累計額合計	△96,021	△55,148
純資産合計	41,403,131	41,035,648
負債純資産合計	79,697,148	80,425,454

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 令和4年4月1日 至 令和4年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 令和5年4月1日 至 令和5年6月30日)
売上高	24,967,131	28,100,833
売上原価	8,397,322	9,621,619
売上総利益	16,569,809	18,479,213
販売費及び一般管理費	16,837,944	18,517,649
営業損失(△)	△268,135	△38,435
営業外収益		
受取利息	3,876	3,976
受取配当金	1,869	1,869
受取賃貸料	52,758	49,959
業務受託料	44,413	76,530
助成金等収入	1,542,345	—
その他	120,336	108,034
営業外収益合計	1,765,599	240,369
営業外費用		
支払利息	19,584	26,760
賃貸費用	51,023	51,999
その他	8,172	7,294
営業外費用合計	78,780	86,053
経常利益	1,418,683	115,879
特別利益		
固定資産売却益	0	6,173
収用補償金	61,233	—
その他	—	2
特別利益合計	61,233	6,175
特別損失		
固定資産除却損	1,007	4,706
店舗閉鎖損失	4,071	1,080
固定資産売却損	146	333
減損損失	10,496	4,691
その他	186	—
特別損失合計	15,909	10,810
税金等調整前四半期純利益	1,464,008	111,244
法人税、住民税及び事業税	221,144	130,847
法人税等調整額	377,392	△17,375
法人税等合計	598,536	113,472
四半期純利益又は四半期純損失(△)	865,471	△2,227
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	865,471	△2,227

（四半期連結包括利益計算書）
（第1四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 令和4年4月1日 至 令和4年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 令和5年4月1日 至 令和5年6月30日）
四半期純利益又は四半期純損失（△）	865,471	△2,227
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	111	101
為替換算調整勘定	△9,895	40,771
その他の包括利益合計	△9,784	40,873
四半期包括利益	855,687	38,645
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	855,687	38,645
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当社は、令和5年6月27日開催の定時株主総会において、下記の配当に関する事項を決議し、配当金の支払をいたしました。この結果、当第1四半期会計期間において、利益剰余金が228,763千円減少しております。

（決議）	株式の種類	配当金の総額 （千円）	1株当たり 配当額（円）	基準日	効力発生日	配当の原資
令和5年6月27日 定時株主総会	普通株式	228,763	12	令和5年3月31日	令和5年6月28日	利益剰余金

（当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動）

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当していませんが、当第1四半期連結会計期間より、台湾松屋餐飲股份有限公司の重要性が増したため、連結の範囲に含めております。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。